

静岡県文化プログラム

TALK SERIES 10

トヨリーズ

Vol. 10

子どもと文化プログラム

クリエイティブな芽を育てるはじめての一步

—「音」を「楽」しむ即興ワークショップ

2019年1月13日(日) 10時30分〜12時30分

静岡県総合教育センターあすなる
大研修室

ゲスト

片岡祐介(音楽家・即興演奏家)

池田邦太郎・斉藤明子(NPO法人「音を楽しむONGAKUの会」)

静岡県文化プログラム事例紹介

(一社)ふじのくに文教創造ネットワーク

かけがわ茶エンナーレ実行委員会

ワークショップ定員2親子50名(先着順) 参加費0無料(要事前申込)

ADVANCED PROGRAM FOR
ARTS AND CULTURE

SHIZUOKA

静岡県文化プログラム

<https://shizuoka-ac.org>



トークシリーズ

10

地域を取り巻くさまざまな分野の物事と

文化・芸術が出会い、交わることによって何が起こり、何が変化していくのか？

2016年度に始まったこのシリーズでは、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた「文化プログラム」を推進するため、毎回さまざまなテーマを設定し、一見文化・芸術とは無関係に見える分野と文化・芸術が交わることで生まれる活動や、地域課題に対する文化・芸術からのアプローチ、新たな文化創造につながる取組などを紹介しています。これらの活動の担い手とさまざまな分野の専門家との対話を通じて、文化プログラムの先に生まれる「未来の静岡県と文化の関係」を探っていきます。

Vol.10 子どもと文化プログラム クリエイティブな芽を育てるはじめての一步 —「音」を「楽」しむ即興ワークショップ

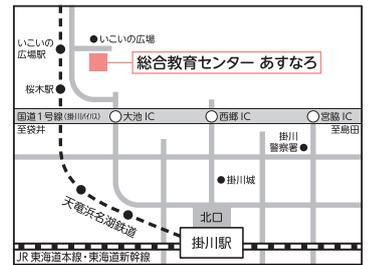
2019年1月13日(日) 10:30~12:30

静岡県総合教育センターあすなろ 大研修室 静岡県掛川市富部456番地

ゲスト：片岡祐介(音楽家・即興演奏家)、池田邦太郎・斉藤明子(NPO法人「音を楽しむONGAKUの会」)

静岡県文化プログラム事例紹介：(一社)ふじのくに文教創造ネットワーク、かけがわ茶エンナーレ実行委員会

今回のトークシリーズは、大人も子どもも楽しめる日用品を使った簡単な楽器づくりと、自由な演奏を楽しむ即興ワークショップです。ゲストとして、打楽器奏者で即興演奏家の片岡祐介氏と、元・音楽教諭で現在は「音を楽しむONGAKUの会」として活動を行う池田邦太郎氏と斉藤明子氏をゲストに招き、自己表現としての「音楽」の楽しさについて考えます。子ども一人一人の自主性や自発性を引き出し、「自分がいいと思うこと」をありのままに表現していく「音楽」の力を、親子一緒に体感してみませんか。トークでは、掛川市内で立ち上がった静岡県文化プログラムの事例も合わせて紹介します。



片岡祐介(かたおか・ゆうすけ)

音楽家・即興演奏家

1969年生まれ。愛知県豊橋市出身。既成の楽器だけではなく日用品や廃品なども使って、ありとあらゆる場所や人と共演する音楽家。少年時代に独学で木琴やピアノの演奏をはじめ、音大の打楽器科をドロップアウトした後、商業的なスタジオミュージシャンを経て、現在は障害者施設や高齢者施設などで即興音楽セッションや歌作りの活動を多数おこなっている。2006年、NHK教育テレビ「あいのて」に黄色のあいでさんとしてレギュラー出演。CDに「カナタキ」、著書に「即興演奏ってどうやるの?」など。



池田邦太郎(いけだ・くにたろう)

帝京平成大学現代ライフ学部児童学科講師、NPO法人「音を楽しむONGAKUの会」理事長

斉藤明子(さいとう・あきこ)

NPO法人「音を楽しむONGAKUの会」副理事長

東京都の公立小・中学校音楽専科教諭として26年間勤務し、現在は帝京平成大学現代ライフ学部児童学科講師として小学校教員を目指す学生の指導にあたる池田と、都内の小学校で音楽専科教諭を定年まで務め、創造的音楽教育の先駆的指導者として東京都小学校音楽教育研究会の大会・都立教育研究所・多摩教育研究所・他、都内各地域の小学校音楽研究会の講師を務める斉藤。共にNPO法人「音を楽しむONGAKUの会」理事長と副理事長として、自由に音そのものを楽しむ「ONGAKU」の魅力を広めようと活動中。



一般社団法人

ふじのくに文教創造ネットワーク

家庭の経済状況に関わらず子どもが多様な文化・芸術体験を積むことができるようにするため、継続的、分野横断的な課外活動として中高生を対象とする総合文化系「地域部活」を創設。産業界による支援や、成長した体験者の運営参画等による長期的な運営モデルの確立を目指している。静岡県文化プログラム提案プログラム(2017年度～)

かけがわ茶エンナーレ実行委員会

掛川市の自然、歴史、文化といった地域資源を最大限に活用し、さらに「茶・茶産地」と「アート」を融合させた展示やパフォーマンスを展開し、地域の魅力を再発見することを目的とした地域芸術祭。2020年の第二回開催に向け、第一回で生まれた市民の活動の継続的な支援・育成に取り組んでいる。静岡県文化プログラム提案プログラム(2017年度～)

お申し込み方法 以下の必要事項をご記入のうえ、いずれかの方法でお申し込みください。①お名前 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤お子様のお名前と年齢(年齢制限はありません) 申込方法：(a)往復はがき [〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ1F]、(b)FAX [054-283-8086]、(c)E-mail [info@shizuoka-ac.org]、(d)お申し込みフォーム [以下のリンク(申込フォーム)よりお申し込みください。https://shizuoka-ac.org/info/talk_vol10/] 宛先：静岡県文化プログラム「トークシリーズ10」係

定員 親子50名(先着順 ※子どものみ、大人のみのご参加も可能です) **参加費** 無料(要事前申込)

応募締切 2019年1月9日(水) 必着(但し定員に達し次第、受付終了)

お問い合わせ 静岡県文化プログラム推進委員会事務局 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ1階

メール：info@shizuoka-ac.org TEL：054-204-0310(9:00~17:00/平日のみ)



静岡県文化プログラム

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、オリンピック憲章で開催が定められた「文化プログラム」が、日本全国で開催されます。

静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。